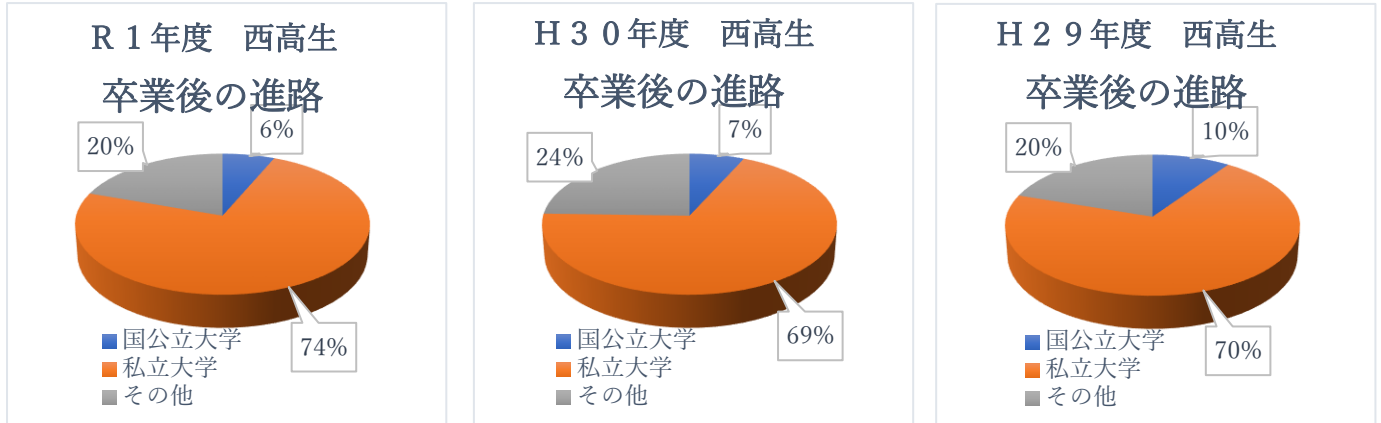


38回生（1年生）のみなさんへ vol.3

2020.4.30

新入生のみなさん、こんにちは。学年主任の水谷です。課題は進んでいますか？毎日取り組むことで今後の選択肢の幅が広がります。日課として勉強をしてください！また、新たな動画がアップされてますので、HPを欠かさずチェックしましょう！

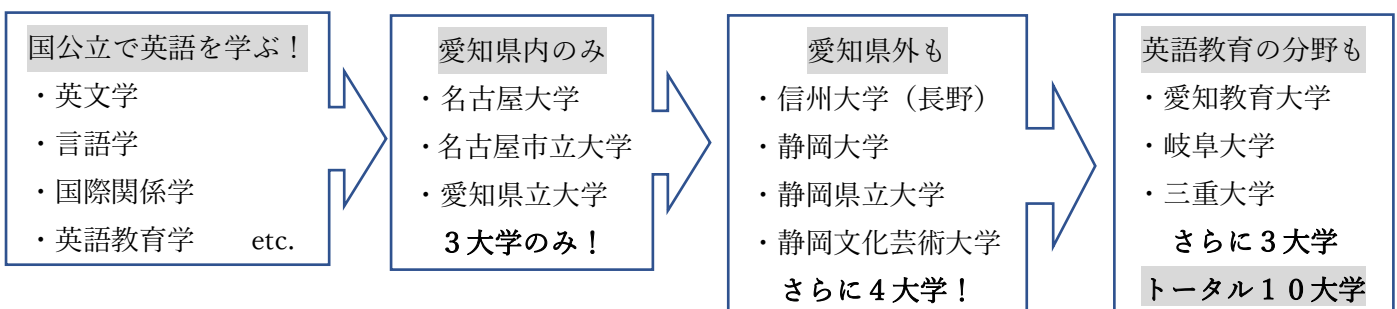
さて、今回は、「進路」の選択肢についてお話をしました。1年生の間に文理選択すると伝えましたね？まだ、決定していないと思いますので、今回の学年通信が進路選択の手がかりになればと思います。今回は、4年制大学の国公立大学進学について話していこうと思います。まずは、下の円グラフをみてください。本校過去3年間の進路状況になります。



見てのとおり、各年度の国公立進学者の割合は、約300人中20～30人と少ないのが現状です。特に、昨年の卒業生たちはセンター試験の廃止の影響で、安定志向が高まり、私立大学を志望する生徒の数が増えました。しかしながら、最後まで粘り続けて合格を勝ち取った先輩たちは精神的に大きく成長したと思います。やはり「チャレンジ」すること、合格を勝ち取るために「努力する」ことが、成長に繋がったのだと思います。

ところで、国公立大学への進学のメリットは何でしょうか？学費が安いのも一つですね。私立大学と4～6年間の学費を比較すると、文系は150～200万、理系は250～300万、医学部に関しては1500万くらい変わってきます。また、「教員一人に対する生徒数」が私立の半分以下であることもメリットでしょう。これは、生徒へのサポートが手厚くなることを意味しています。もちろん、国公立であろうと怠惰な生徒は放置されますのでご注意ください（笑）。一方で、私立大学では、学費が高い分、施設がきれいだったり、学生数が多かったりするので部活やサークルが充実しています。他にも両者のメリット・デメリットはありますのでよく調べて「どこの大学にいきたいか」をよく考えましょう！

次のページには、本校の過去3年間の「国公立大学合格実績」を載せています。ポイントは、H29年度、H30年度の合格者数です。昨年よりも合格者数、受験した大学の数も多いです。昨年は東海地方に集中しています。主観ではありますが、「県内志向」が強かったことが合格率に影響したのかも知れません。特に今回は、愛知県立大学の志願者が多かった印象です。**現段階では、県内と県外に目標の大学を決めておくことを推奨します。**理由は県内の国公立大学だけでは、選択肢が少なすぎるからです。例を見てみましょう！



愛知県内で英文学、外国語、国際関係学、言語学など英語を学ぶことができる国公立大学は、**3大学**しかありません。愛知県内の一つの大学に西高生が殺到すれば、募集人数の枠を友人同士で争う可能性や国公立大学合格の難易度が高くなります。しかし、県外を視野に入れ、分野を広げれば選択肢が増えます。たとえ**1次試験の共通テストの結果が振るわなくても**、**選択肢が複数あれば他の国公立大学に挑戦することができます**。そのためにも、**県外の大学も調べておきましょう！**



自分のやりたい分野を決めて、視野を広げることで**国公立の合格率**を上げることができる！！

今回は4年制大学、特に国公立大学について説明していきました。もちろん、国公立大学にも私立にもメリットやデメリットがあります。しかし、文理選択後に「理系にしておけばよかった」や大学に入学してから「こんなはずじゃなかった」と後悔しても後戻りはできません。大人になってから自分の選択に誇りをもてるように、真剣に向き合ってほしいと心から思っています。

最後に、今の状況下でみなさんができることは、自身の進路目標を考えながら満遍なく学習をし「得意科目」や「苦手科目」をはっきりさせておくことです。必ずしも全員が明確な目標や夢があるわけではありません。高校3年間で目指す物が見つかる人もいれば、進学してから見つかる人もいます。大切なことは、できることが制限されている中で、「今」自分に何ができるのかを模索することです。心のゆとりが十分にある今だからこそ、得意科目に励む、苦手な教科に取り組む、普段読まないジャンルの本を読む、トレーニングを試みるなど、してみてください。そして、自分が社会の一員としてどんな人間になりたいか、家族や友人、社会のためにどんなことができるのかと自問してください。きっと進路選択の一步を踏み出せるはず。何も考えてない人は、考えましょう。まったく勉強していない人は、勉強しましょう。そうすれば自分のためにも、周囲で支えてくれる人のためにもなるはず。自分を変えるためにも「今」を全力で生きましょう。